

総合お問い合わせ先
(ドコモ インフォメーションセンター)

■ドコモの携帯電話からの場合

 (局番なしの) **151** (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

 **0120-800-000**

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 午前9:00～午後8:00 (年中無休)

●番号をよくご確認の上、お間違いないようにおかけください。

●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ <http://www.nttdocomo.co.jp/>

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

 (局番なしの) **113** (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

 **0120-800-000**

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 24時間 (年中無休)

海外での紛失、盗難、精算などについて
(ドコモ インフォメーションセンター) (24時間受付)

●ドコモの携帯電話からの場合

 滞在国の国際電話
アクセス番号 **-81-3-6832-6600*** (無料)

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※F-07Dからご利用の場合は、+81-3-6832-6600でつながります
([+]は[0]を1秒以上タッチします)。

●一般電話などからの場合(ユニバーサルナンバー)

 ユニバーサルナンバー用
国際識別番号 **-8000120-0151***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号/ユニバーサルナンバー用国際識別番号
については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。

●お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

海外での故障について
(ネットワークオペレーションセンター) (24時間受付)

●ドコモの携帯電話からの場合

 滞在国の国際電話
アクセス番号 **-81-3-6718-1414*** (無料)

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※F-07Dからご利用の場合は、+81-3-6718-1414でつながります
([+]は[0]を1秒以上タッチします)。

●一般電話などからの場合(ユニバーサルナンバー)

 ユニバーサルナンバー用
国際識別番号 **-8005931-8600***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号/ユニバーサルナンバー用国際識別番号
については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

docomo
F-07D

ARROWS μ

クイックスタートガイド '11.12

docomo **NEXT** series



マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。



Li-ion 00

環境保全のため、不要になった電池は
NTTドコモまたは代理店、リサイクル
協力店などにお持ちください。



販売元 株式会社NTTドコモ
製造元 富士通株式会社

'11.12 (1版)
CA92002-7720



詳しい操作説明は、F-07Dに搭載されている「取扱説明書」アプリ(eトリセツ)をご覧ください。

はじめに

「F-07D」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前やご利用中、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

本端末のご使用にあたって

- 本端末は、W-CDMA・GSM/GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご利用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい所であってもご利用にならない場合があります。なお、電波が強く電波状態アイコンが4本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA・GSM/GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としが聞き取れません。
- 本端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容（連絡先、スケジュール、メモなど）は、別にメモを取るなどして保管していただくようお願いいたします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、お客様の端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用さ

れたりする可能性があります。このため、ご利用されるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。

- 大切なデータはmicroSDカードおよびパソコンに保存することをおすすめします。
- 本端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。

SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、ご利用になれるサービス、機能などが制限されます。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

操作説明

「クイックスタートガイド」(冊子)

画面の表示内容や基本的な機能の操作について説明

「取扱説明書」(本端末に搭載)

すべての機能の案内や操作について説明
アプリケーションメニューで「取扱説明書」→検索
方法を選択

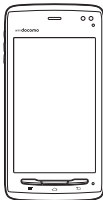
「取扱説明書」(PDFファイル)

すべての機能の案内や操作について説明
(パソコンから) <http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html>
※最新情報がダウンロードできます。

本体付属品および主なオプション品

〈本体付属品〉

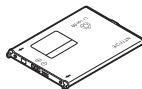
F-07D (リアカバー F68、保証書含む)



クイックスタートガイド
(本書)



電池パック F24



卓上ホルダ F34

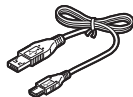


microSD カード (2GB)
(試供品)(取扱説明書付き)

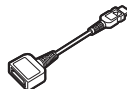


※ お買い上げ時にあらかじめ本端末に取り付けられています。

PC 接続用 USB
ケーブル T01

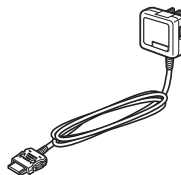


FOMA 充電 microSD
変換アダプタ T01



〈主なオプション品〉

FOMA AC アダプタ 01 / 02
(保証書、取扱説明書付き)



その他のオプション品→P48

- 本書においては、「F-07D」を「本端末」と表記しています。
- 本書に掲載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書はホームアプリケーションがdocomo Palette UIの場合で説明しています。
- 本書内の「認証操作」という表記は、4～8桁の端末暗証番号を入力する操作 (→P30) を表しています。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容やホームページのURLおよび記載内容は、将来予告なしに変更することがあります。

目次

■本体付属品および主なオプション品	1
■本端末のご利用にあたっての注意事項	3
■安全上のご注意 (必ずお守りください)	4
■取り扱い上のご注意	11
■防水性能	16

ご使用前の確認と設定..... 19

各部の名称と機能.....	19
ドコモminiUIカード.....	20
microSDカード.....	21
電池パック.....	21
充電.....	23
電源ON/OFF.....	24
基本操作 (タッチパネルの使いかた).....	24
初期設定.....	26
画面表示/アイコン.....	26
文字入力.....	27
ロック/セキュリティ.....	30
ホーム画面.....	32
アプリケーション画面.....	33

電話/ネットワークサービス... 34

電話をかける	34
電話を受ける	34
通話中の操作	34
通話履歴	35
電話帳	35
マイプロフィール.....	38
利用できるネットワークサービス.....	38

各種設定..... 40

設定メニュー.....	40
無線とネットワーク	40

メール/インターネット..... 45

spモードメール.....	45
SMS.....	45
Eメール.....	45
Gmail.....	46
緊急速報「エリアメール」.....	46
ブラウザ.....	47

付録/索引..... 48

オプション・関連機器のご紹介.....	48
トラブルシューティング (FAQ)	48
保証とアフターサービス	51
ソフトウェア更新.....	52
携帯電話機の比吸収率 (SAR).....	56
輸出管理規制.....	60
知的財産権.....	60
索引.....	63

本端末のご利用にあたっての注意事項

- 本端末は i モードのサイト (番組) への接続、i アプリなどには対応しておりません。
- Google アプリケーションおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- 本端末は、データの同期や最新ソフトウェアバージョンをチェックするための通信やサーバーとの接続を維持するための通信などを一部自動的に行う仕様となっています。また、アプリケーションのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- 本端末では、マナーモード中でも、着信音や各種通知音を除く音 (動画再生、音楽の再生、アラームなど) は消音されません。
- 本端末のソフトウェアを最新の状態に更新することができます。→P52
- 端末の品質改善に対応したアップデートや、オペレーティングシステム (OS) のバージョンアップを行うことがあります。バージョンアップ後に、古いバージョンで使用していたアプリケーションが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- microSDカードや端末の容量がいっぱいに近い状態のときに、起動中のアプリケーションが正常に動作しなくなる場合があります。そのときは保存しているデータを削除してください。
- 紛失に備え画面ロックのパスワードを設定し、端末のセキュリティを確保してください。
- Googleが提供するサービスについては、Google Inc.の利用規約をお読みください。また、そのほかのウェブサービスについては、それぞれの利用規約をお読みください。
- 本端末では、ドコモminiUIカードのみご利用になります。ドコモUIカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてドコモminiUIカードにお取り替えください。
- 万が一紛失した場合は、Googleトーク、Gmail、AndroidマーケットなどのGoogleサービスや、Twitter、Facebookなどのサービスを他人に利用されないように、パソコンから各種アカウントのパスワードを変更してください。
- spモード、mopera Uおよびビジネスmoperaインターネット (VPN設定はPPTPのみに限定) 以外のプロバイダはサポートしておりません。
- テザリングのご利用には、spモードのご契約が必要です。
- テザリング利用時は、パケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット定額サービスへのご加入を強くおすすめします。
- パケット定額サービスをご利用の場合、テザリングを有効にすると外部機器が未接続の状態でも、ブラウザやメールなどを含むすべてのパケット通信が「パソコンなどの外部機器を接続した通信」となります。利用後は必ずテザリングを無効にしてください。
- ご利用時の料金など詳細については、<http://www.nttdocomo.co.jp/> をご覧ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

 禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
 指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていたことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は次の項目に分けて説明しています。

本端末、電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモ miniUIMカードの取り扱い（共通）	5
本端末の取り扱い	6
電池パックの取り扱い	7
アダプタ、卓上ホルダの取り扱い	8
ドコモ miniUIMカードの取り扱い	9
医用電気機器近くでの取り扱い	10
材質一覧	10

◆本端末、電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモminiUIMカードの取り扱い（共通）

⚠危険



禁止

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けがの原因となります。



禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



水濡れ禁止

水や飲料水、ベットの尿などで濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。
防水性能についてはこちらをご参照ください。→ P16



指示

本端末に使用する電池パックおよびアダプタは、NTTドコモが指定したものを使用してください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠警告



禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどの原因となります。



指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

ガスに引火する恐れがあります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態でご使用してください。
（おサイフケータイ ロック設定を設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）



指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままてと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

- 電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。
- 本端末の電源を切る。
- 電池パックを本端末から取り外す。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠注意



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがの原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。



指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかを確認ください。

けがなどの原因となります。



指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。



指示

本端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

充電しながらアプリケーションや通話、ワンセグ視聴などを長時間行うと本端末や電池パック・アダプタの温度が高くなることがあります。

温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

◆本端末の取り扱い

警告



禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

目に悪影響を及ぼす原因となります。



禁止

赤外線通信使用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。

赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。



禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。

視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。



禁止

本端末内のドコモminiUIMカードやmicroSDカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。

運転の妨けとなり、事故の原因となります。



指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。

医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。

航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。

ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で本端末が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。



指示

ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ず本端末を耳から離してください。

また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎると難聴の原因となります。

また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。



指示

心臓の弱い方は、着信バイブレート（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響について確認の上でご使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ部やカメラのレンズの表面には、プラスチックパネルを使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠ 注意



禁止

ストラップなどを持って本端末を振り回さないでください。

本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。



禁止

本端末が破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



禁止

モーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。



禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。

液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。

また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で洗いしてください。



指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。→「材質一覧 (P10)」



指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。

視力低下の原因となります。

◆ 電池パックの取り扱い

■ 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表 示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

⚠ 危険

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



禁止

電池パックを本端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



禁止

火の中に投下しないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



指示

電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

失明の原因となります。

⚠ 警告

禁止

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



指示

電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。



指示

ペットが電池パックに噛みつかないようにご注意ください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

⚠ 注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。



禁止

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



指示

電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起す原因となります。液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

◆ アダプタ、卓上ホルダの取り扱い**⚠ 警告**

禁止

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。



禁止

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。



禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。
プラスアース車には使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。



禁止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。

感電の原因となります。



禁止

コンセントやシガーライターソケットにつかない状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部に触れさせないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。



禁止

アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。



禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。



濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコード、卓上ホルダ、コンセントに触れないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。



指示

指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。

誤った電圧で使用するとう火災、やけど、感電の原因となります。

ACアダプタ：AC100V

DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）

海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～

240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）



指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。

火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。



指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

火災、やけど、感電の原因となります。



指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。

火災、やけど、感電の原因となります。



指示

電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。



電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。



電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。



電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。

火災、やけど、感電の原因となります。

◆ドコモminiUIカードの取り扱い



注意



指示

ドコモminiUIカードを取り外す際は切断面にご注意ください。

けかの原因となります。

◆ 医用電気機器近くでの取り扱い

■ 本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

警告



指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠動脈疾患監視病室（CCU）には本端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、本端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。



指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本端末の電源を切ってください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器など医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末は22cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

◆ 材質一覧

使用箇所		材 質	表面処理
外装ケース	フロントケース	PA-GF45樹脂	UVハードコート
	リアケース	PC-GF10樹脂	シボ処理
	リアカバー	PC-GF10樹脂	UVハードコート
	リアカバーインナー	シリコンゴム	なし
ディスプレイパネル		強化ガラス	飛散防止フィルム
アウトカメラパネル		アクリル樹脂	なし
モバイルライトパネル		PC樹脂	シボ処理
操作キー	キートップ	PC樹脂	なし
	キー台座	PC樹脂	ハーフ蒸着
	ジョイントシート	PET	なし
電源キー		PC樹脂	UVハードコート
音量ボタン		PC+ABS樹脂	UVハードコート
ストラッププレート		ステンレス鋼	光沢バレル研磨
ストラップ固定ネジ		ステンレス鋼	黒Niメッキ
RF端子ラバー		シリコンゴム	なし

使用箇所	材 質	表面処理
外部接続端子キャップ	本体	PC樹脂 UVハードコート
	屈曲部	エラストマー樹脂 なし
	止水部	PC樹脂 なし
	止水ゴム部	シリコンゴム なし
ステレオイヤホン端子キャップ	本体	PC樹脂 UVハードコート
	屈曲部	エラストマー樹脂 なし
	止水ゴム部	シリコンゴム なし
ワンセグアンテナ	アンテナトップ	PC/ABS樹脂 UVハードコート
	アンテナロッド	ステンレス鋼 なし
	アンテナホルダ	亜鉛ダイキャスト Niメッキ
ワンセグアンテナ固定ネジ	ステンレス鋼	なし
外部接続端子	ステンレス鋼	錫メッキ
ネジ（電池収納部）	ステンレス鋼	なし
電池収納面	プリント基板	金メッキ
ドコモminiUIMカードコネクタ	カバー	ステンレス鋼 なし
	ハウジング	LCP樹脂 なし
	ホルダ	PC-ABS樹脂 なし
電池バック	電池バック本体	PC樹脂 なし
	端子部	ベリリウム銅 金メッキ
ドコモminiUIMカードトレイ	ABS樹脂	なし

取り扱い上のご注意

◆ 共通のお願い

- F-07Dは防水性能を有しておりますが、端末内部に浸水させたり、付属品、オプション品に水をかけたりしないでください。

- 電池バック、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモminiUIMカードは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですでの修理を実施できる場合でも有料修理となります。

- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

- 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
- ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

- 端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。

- 端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。

また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。

- 急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

- 本端末や電池パックなどに無理な力がかけられないように使用してください。
- 多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子やステレオイヤホン端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。
- 傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- 電池パック、アダプタに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

◆ 本端末についてのごお願い

- タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。
- タッチパネルが破損する原因となります。
- 極端な高温、低温は避けてください。
- 温度は5℃～40℃（ただし、36℃以上はお風呂場などでの一時的な使用に限る）、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報は、別にメモを取るなどして保管してくださいようお願いします。
- 万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 故障、破損の原因となります。
- 外部接続端子やステレオイヤホン端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
- 故障、破損の原因となります。

- 使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
- 素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- 通常は外部接続端子/ステレオイヤホン端子キャップを閉じた状態でご使用ください。
- ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- リアカバーを外したまま使用しないでください。
- 電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。
- データの消失、故障の原因となります。
- 磁気カードなどを本端末に近づけないでください。
- キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- 本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。
- 強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

◆ 電池パックについてのごお願い

- 電池パックは消耗品です。
- 使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- 電池パックの使用条件により、寿命が近づくとつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。
- フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
- 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をお勧めします。

◆ アダプタについてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所は、充電しないでください。
 - 湿気、ほこり、振動の多い場所
 - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
 - 自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜き防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
 - 故障の原因となります。

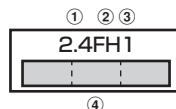
◆ ドコモminiUIMカードについてのお願い

- ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどにドコモminiUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身でドコモminiUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してください。
 - 万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったドコモminiUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。

- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
 - データの消失、故障の原因となります。
- ドコモminiUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
 - 故障の原因となります。
- ドコモminiUIMカードを曲げたり、重いものをせたりしないでください。
 - 故障の原因となります。
- ドコモminiUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けしないでください。
 - 故障の原因となります。

◆ Bluetooth機能を使用する場合のお願い

- 本端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末では、ヘッドセット、ハンズフリー、オーディオ、キーボード、データ転送、シリアルポートを利用できます。また、オーディオではオーディオ／ビデオリモートコントロールも利用できる場合があります（対応しているBluetooth機器のみ）。
- 周波数帯について
本端末のBluetooth機能が使用する周波数帯は次のとおりです。



- ① 2.4：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。

- ② FH: 変調方式がFH-SS方式であることを示します。
- ③ 1: 想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
- ④ : 2400MHz~2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

Bluetooth機器使用上の注意事項

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

◆無線LAN (WLAN) についてお願い

- 無線LAN (WLAN) は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

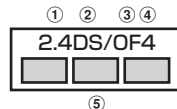
●無線LANについて

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

●周波数帯について

WLAN搭載機器が使用する周波数帯は、本端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。



- ① 2.4: 2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
- ② DS: 変調方式がDS-SS方式であることを示します。
- ③ OF: 変調方式がOFDM方式であることを示します。
- ④ 4: 想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
- ⑤ : 2400MHz~2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャネルは国により異なります。WLANを海外で利用する場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための措置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

◆ FeliCaリーダー／ライターについて

- 本端末のFeliCaリーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。
- 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。

◆ 注意

- 改造された端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技術マーク㊞」が本端末の銘版シールに表示されています。本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。
- Bluetooth機能は日本国内で使用してください。本端末のBluetooth機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。
- FeliCaリーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。本端末のFeliCaリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。
- 基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

防水性能

F-07Dは、外部接続端子／ステレオイヤホン端子キャップをしっかりと閉じ、リアカバーを確実に取り付け付けた状態で、IPX5※1、IPX8※2の防水性能を有しています。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。

※2 F-07DにおけるIPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mの所にF-07Dを静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。(水中においてカメラ機能は使用できません。)

◆F-07Dが有する防水性能でできること

- 1時間の雨量が20mm程度の雨の中で、傘をささずに通話やワンセグ視聴ができます。
 - 手が濡れているときや端末に水滴がついているときには、リアカバーの取り付け／取り外し、外部接続端子／ステレオイヤホン端子キャップの開閉はしないでください。
- 水深1.5mのプールの中に沈めることができます。
 - 水中で操作しないでください。
 - プールの水に浸けるときは、30分以内としてください。
 - プールの水がかかったり、プールの水に浸けたりは場合は、後述の方法で洗い流し、所定の方法(→P18)で水抜きしてください。
- お風呂場で使用できます。
 - 湯船には浸けないでください。また、お湯の中で使用しないでください。故障の原因となります。
 - 温泉や石鹸、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。

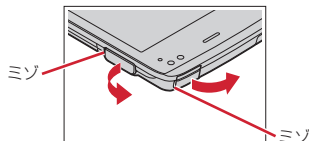
- 洗面器などに張った静水につけて、ゆすりながら汚れを洗い流すことができます。

- 洗うときはリアカバーを確実に取り付け付けた状態で、外部接続端子／ステレオイヤホン端子キャップが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず洗ってください。

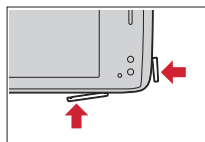
◆防水性能を維持するために

水の浸入を防ぐために、必ず次の点を守ってください。

- 常温の水道水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。
- 外部接続端子やステレオイヤホン端子を使用するときには、次の図に示すミゾに指を掛けてキャップを開けてください。



また、外部接続端子やステレオイヤホン端子使用後は次の図に示す方向にキャップを閉じ、ツメを押し込んでキャップの浮きがないことを確認してください。



- リアカバーの取り付けかたは、「電池パックの取り付け／取り外し」の「■取り付けかた」の④⑤をご覧ください。→P22
- リアカバーは浮きがないように確実に取り付け、外部接続端子／ステレオイヤホン端子キャップはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など)が挟まると、浸水の原因となります。

- マイク（送話口）、受話口、スピーカーなどを綿棒や尖ったものでつかないでください。
- 落ささないでください。傷の発生などにより防水性能の劣化を招くことがあります。
- 外部接続端子／ステレオイヤホン端子キャップ、リアカバー裏面のゴムパッキンは防水性能を維持する上で重要な役割を担っています。リアカバーをねじるとなして変形させたり、ゴムパッキンををはがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

防水性能を維持するため、異常の有無に関わらず必ず2年に1回、部品の交換が必要となります。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

◆ ご使用にあたっての注意事項

次のイラストで表すような行為は行わないでください。

〈例〉



石鹸／洗剤／入浴剤
を注げる



ブラシ／スポンジ
で洗う



洗濯機で洗う



強すぎる水流を
当てる



海水につける



温泉で使う



砂／泥をつける

また、次の注意事項を守って正しくお使いください。

- 付属品、オプション品は防水性能を有していません。付属の卓上ホルダに本端末を置いた状態でワンセグ視聴などをする場合、ACアダプタを接続していない状態でも、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。

- 規定（→P16）以上の強い水流（例えば、蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの水流）を直接当てないでください。F-07DはIPX5の防水性能を有していますが、内部に水が入り、感電や電池の腐食などの原因となります。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- 本端末を水中で移動させたり、水面に叩きつけたりしないでください。
- 水道水やプールの水に浸けるときは、30分以内としてください。
- プールで使用するときは、その施設の規則を守って、使用してください。
- 本端末は水に浮きません。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。電源端子がショートしたり、寒冷地では凍結したりして、故障の原因となります。
- マイク（送話口）、受話口、スピーカーに水滴を残さないでください。通話不良となる恐れがあります。
- リアカバーが破損した場合は、リアカバーを交換してください。破損箇所から内部に水が入り、感電や電池の腐食などの故障の原因となります。
- 外部接続端子／ステレオイヤホン端子キャップやリアカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、電池パックを外した状態でドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
- 外部接続端子／ステレオイヤホン端子キャップやリアカバー裏面のゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口にてお取替えください。

実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

◆ 水抜きについて

本端末を水に濡らすと、拭き取れなかった水が後から漏れてくることがありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

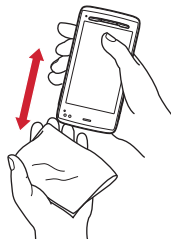
- ① 本端末をしっかりと持ち、表面、裏面を乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。



- ② 本端末をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。



- ③ マイク（送話口）、受話口、スピーカー、キーなどの隙間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに本端末を10回程度振るように押し当てて拭き取ってください。



- ④ 本端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、自然乾燥させてください。

- 水を拭き取った後に本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
- 隙間に溜まった水を綿棒などで直接拭き取らないでください。

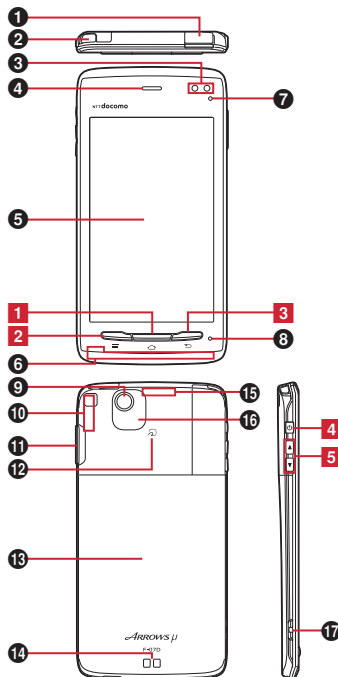
◆ 充電のときには

充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- 充電時は、本端末が濡れていないか確認してください。本端末が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- 付属品、オプション品は防水性能を有していません。
- 本端末が濡れている場合や水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を拭き取ってから、付属の卓上ホルダの上に置いたり、外部接続端子キャップを開いたりしてください。
- 外部接続端子キャップを開いて充電した場合には、充電後はしっかりとキャップを閉じてください。なお、外部接続端子からの浸水を防ぐため、卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします。
- ACアダプタ、卓上ホルダは、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りや水のかかる場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプタ、卓上ホルダに触れないでください。感電の原因となります。

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能



〈各部の機能〉

① ステレオイヤホン端子

② ワンセグアンテナ

※ ワンセグを視聴するときに伸ばします。

③ 近接センサー／照度センサー

近接センサー：通話中にタッチパネルの誤動作を防ぐ

※ 近接センサー部分に保護シートやシールなどを貼り付けると、誤動作する場合があります。

照度センサー：周囲の明るさを検知して、ディスプレイのバックライトを自動調節

※ ふさぐと、正しく検知されない場合があります。

④ 受話口／スピーカー

⑤ ディスプレイ（タッチパネル）

⑥ FOMAアンテナ部

※ アンテナは本体に内蔵されています。手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

⑦ お知らせLED

※ 点灯／点滅色は、アプリケーションによって異なる場合があります。

⑧ 送話口（マイク）

⑨ カメラ

⑩ GPSアンテナ部

※ アンテナは本体に内蔵されています。手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

⑪ 外部接続端子

付属のPC接続用USBケーブル TO1 などの接続

⑫ マーク

ICカードの搭載

※ マークを読み取り機にかざしておサイフケータイを利用したり、対応するアプリケーションをダウンロードするとiC通信でデータを送受信したりできます。なお、ICカードは取り外せません。

⑬ リアカバー

※ リアカバーを外して、電池パックを取り外すと、ドコモminiUIMカードスロットとmicroSDカードスロットがあります。

※ リアカバーの裏面には、防水のためのゴムパッキンがついています。

⑭ 充電端子

⑮ Bluetooth／Wi-Fiアンテナ部

※ アンテナは本体に内蔵されています。手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

⑯ 赤外線ポート

⑰ ストラップホール

〈キーの機能〉

キーを押して動作する機能は次のとおりです。

1 電源キー

押す：スリープモードの設定／解除

長く押す：電源を入れる／切る、マナーモード、公共モード、機内モードの設定／解除

2 メニューキー

押す：現在の画面で利用できる設定などの表示

1秒以上押す：文字入力時はキーボードの表示／非表示

3 ホームキー

押す：ホーム画面に戻る

1秒以上押す：最近使用したアプリケーションの表示

4 バックキー

押す：直前の画面に戻る

5 音量ボタン

押す：各種機能の音量の調節

を1秒以上押す：マナーモードの設定／解除

ドコモminiUIMカード

ドコモminiUIMカードとは、電話番号などのお客様情報が記録されているICカードです。

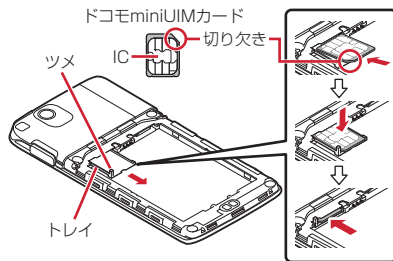
- 本端末ではドコモminiUIMカードのみご利用できます。ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- ドコモminiUIMカードが本端末に取り付けられていないと、一部の機能を利用することができません。
- ドコモminiUIMカードについて詳しくは、ドコモminiUIMカードの取扱説明書をご覧ください。

◆ ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外し

- 取り付け／取り外しは、本端末の電源を切り、リアカバーと電池パックを取り外してから行います。→ P21

■ 取り付けかた

- ① ツメに指をかけ、トレイをまっすぐに引き出す
- ② ドコモminiUIMカードのIC面を上にしてトレイに載せ、奥に差し込む



■ 取り外しかた

- ① ツメに指をかけ、トレイをまっすぐに引き出してドコモminiUIMカードを取り外す

microSDカード

◆ microSDカードについて

本端末にmicroSDカードまたはmicroSDHCカードを取り付けてご使用ください。取り付けていない場合、カメラ、音楽や動画（再生やダウンロード）など一部の機能がご利用になれません。

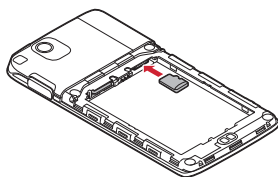
- 本端末は、2GBまでのmicroSDカードと32GBまでのmicroSDHCカードに対応しています（2011年12月現在）。ただし、市販されているすべてのmicroSDカードおよびmicroSDHCカードの動作を保証するものではありません。対応のmicroSDカードは各microSDメーカーへお問い合わせください。
- microSDカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れる恐れがあります。

◆ microSDカードの取り付け／取り外し

- お買い上げ時は、あらかじめmicroSDカード（試供品）が取り付けられています。ご使用前に、microSDカード（試供品）の取扱説明書もご覧ください。
- 取り付け／取り外しは、本端末の電源を切り、リアカバーと電池パックを取り外してから行います。→ P21

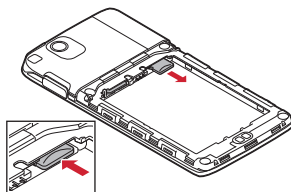
■ 取り付けかた

- ① microSDカードの金属端子面を下にして、図の向きで挿入口にロックするまで差し込む



■ 取り外しかた

- ① microSDカードを軽く押し込んでから離し、microSDカードをまっすぐ引き出す



電池パック

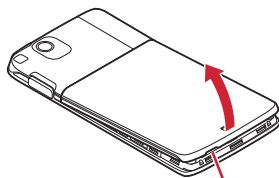
◆ 電池パックの取り付け／取り外し

- 電池パックの取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。
- リアカバーの取り付け／取り外しは、本端末のディスプレイなどが傷つかないように、手に持って行ってください。
- 本端末が濡れているときは、水分をよく拭きとってから、リアカバーを取り外してください。
- 本端末専用の電池パック F23をご利用ください。

■ 取り付けかた

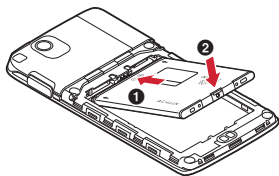
① リアカバー取り外し部に爪をかけ、リアカバーを矢印の方向に垂直に持ち上げながら取り外す

- 防水性能を維持するため、リアカバーはしっかりと取り付ける構造となっています。取り外しにくい場合は、力を入れて取り外してください。



リアカバー取り外し部

② 電池バックのラベル面を上にして、電池バックの金属端子を本端末の金属端子に合わせて①の方向に差し込みながら、②の方向に取り付ける



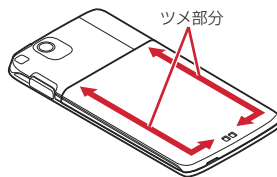
③ リアカバーの向きを確認し、2箇所のツメを本体に合わせるようにして装着する

《イラスト掲載予定》

④ リアカバー周辺にあるツメ部分を矢印の方向へなぞるようにしっかりと押して、完全に閉める

- 防水性能を維持するために、浮いている箇所がないことを確認しながら確実に取り付けてください。

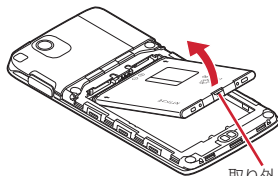
※「防水性能」について→P16



■ 取り外しかた

① 電池バックの取り付けの操作①を行う

② 電池バックの取り外し用ツメをつまんで、矢印の方向に持ち上げて取り外す



取り外し用ツメ

充電

◆ 卓上ホルダ充電の設定

付属の卓上ホルダ F34を使って充電する場合は、本設定を必ず確認してから充電を行ってください。

- 卓上ホルダを使わないで充電する場合は、本設定を変更する必要はありません。

1 ホーム画面で → [本体設定] → [初期設定] → [卓上ホルダ充電] → 充電方法を選択

急速充電 (ACアダプタ) : 付属のFOMA充電microUSB変換アダプタ T01と別売りのFOMA ACアダプタ 01/02を接続して充電する場合には選択します。

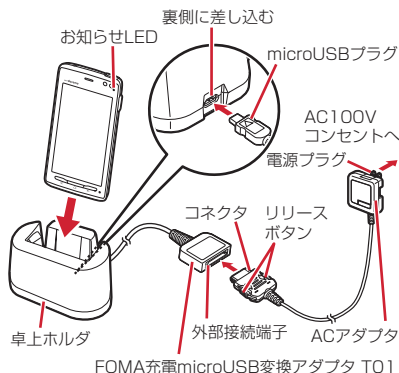
通常充電 (USB充電) : 付属のFOMA充電microUSB変換アダプタ T01と別売りのFOMA ACアダプタ 01/02以外を接続して充電する場合には選択します。

◆ 卓上ホルダを使って充電

別売りのFOMA ACアダプタ 01/02、付属のFOMA 充電microUSB変換アダプタ T01と卓上ホルダ F34を使って充電してください。

- ① ACアダプタのコネクタを、充電microUSB変換アダプタの外部接続端子に差し込む
- ② 充電microUSB変換アダプタのmicroUSBプラグを卓上ホルダ裏側の端子へ差し込む
- ③ ACアダプタの電源プラグをコンセントへ差し込む
- ④ 本端末を卓上ホルダに差し込む
 - 充電中はお知らせLEDが赤く点灯し、充電が完了すると消灯します。

- ⑤ 充電が終わったら、本端末を卓上ホルダから取り外し、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く



◆ ACアダプタを使って充電

FOMA ACアダプタ 01/02 (別売) と付属のFOMA 充電microUSB 変換アダプタ T01を使って充電します。

- ① ACアダプタのコネクタを、充電microUSB変換アダプタの外部接続端子に差し込む
- ② 本端末の端子キャップを開け、充電microUSB変換アダプタのmicroUSBプラグを差し込む
- ③ ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む
 - 充電中はお知らせLEDが赤く点灯し、充電が完了すると消灯します。
- ④ 充電が終わったら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く
- ⑤ 本端末からmicroUSBプラグを抜き、端子キャップを閉じる

⑥ 充電microUSB変換アダプタの外部接続端子からACアダプタのコネクタを抜く

- コネクタのリリースボタンを押しながら、水平に引き抜きます。

◆ PC接続用USBケーブルを使って充電

本端末とパソコンを付属のPC接続用USBケーブルT01で接続すると、本端末をパソコンから充電することができます。

- パソコン上に「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面が表示されたら、「キャンセル」を選択してください。

電源ON / OFF

◆ 電源を入れる

1 お知らせLEDが緑色に点灯して同時にバイブレータが振動するまで[ON]を押し続ける(2秒以上)

起動画面に続いて誤操作防止用のロック画面が表示されます。

2 ロック画面の[ON]をタップ

■ 初めて電源を入れたときは

初期設定を行った後、ドコモサービスの初期設定を行います。それぞれ画面の案内に従って操作してください。

- ソフトウェア更新機能の確認画面が表示された場合は[OK]をタップします。

◆ 電源を切る

1 携帯電話オプションメニューが表示されるまで[ON]を押し続ける→[電源を切る]→[OK]

バイブレータが振動して電源が切れます。

基本操作 (タッチパネルの使いかた)

本端末のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。また、向きや動きを検知するモーションセンサーによって、本端末を縦または横に傾けて、画面表示を切り替えることができます。

◆ タッチパネル利用上のご注意

タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押ししたり、先の尖ったもの(爪/ボールペン/ピンなど)を押し付けたりしないでください。

- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。

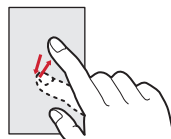
- 手袋をしたままでの操作
- 爪の先での操作
- 異物を操作面に乗せたままでの操作
- 保護シートやシールなどを貼った操作
- タッチパネルが濡れたままでの操作
- 指が汗や水などで濡れた状態での操作
- 水中での操作

◆ 主な操作

❖ タップ / ダブルタップ

タップ：画面に軽く触れてから離します。画面から指を離れた時点で操作が有効になります。

ダブルタップ：すばやく2回続けてタップします。



例：タップ

❖ 1秒以上タッチ

画面に1秒以上触れてから離します。画面に指を触れたまま次の操作を行う場合もあります。

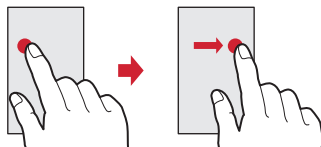
※ 操作の説明では「(1秒以上)」と記載することがあります。

❖ ドラッグ／スライド／パン

ドラッグ：画面の項目やアイコンに指を触れたまま、任意の位置に動かします。

スライド：画面に指を軽く触れたまま、目的の方向に動かします。

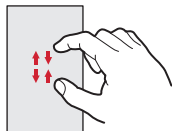
パン：画面そのものを任意の方向にドラッグして見た部分を表示します。



例：ドラッグ

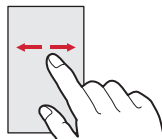
❖ ピンチ

画面に2本の指で触れたまま、指の間隔を広げたり（ピンチアウト）、狭くしたり（ピンチイン）します。



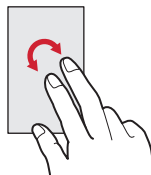
❖ フリック

画面に触れた指をすばやく払います。



❖ スワイプ

画面に触れた2本の指の間隔を固定したまま、回転したり上下にスライドしたりします。



例：回転スワイプ

初期設定

本端末を使うために最初に設定が必要な項目をまとめて設定できます。

- 各設定はいつでも変更できます。

1 ホーム画面で  → [本体設定] → [初期設定]

2 各項目を設定

自分から設定: 自分から設定の基本情報やあわせるボイスについて設定します。

画面ロックの認証設定: 画面ロックについて設定します。

セキュリティ解除方法: セキュリティロックの解除方法を設定します。

ホーム壁紙: ホーム画面の壁紙を設定します。

フォトスクリーン: ロック画面の画像を設定します。

電話帳コピー: 電話帳のコピーをします。

Google アカウント: Google アカウントを設定します。

◆ その他の初期設定について

初期設定の項目以外にも、必要に応じて、次の項目を設定してください。

- Eメールのアカウントの設定 → P45
- Wi-Fi機能の設定 → P41
- アクセスポイント (APN) の設定 → P40

画面表示／アイコン

◆ ステータスバーのアイコン

ステータスバーに表示される通知アイコンとステータスアイコンで様々な状態を確認できます。



■ 主な通知アイコン

-  新着 Gmail
-  新着Eメール
-  新着SMS
-  新着エリアメール
-  SMSの送信失敗
-  伝言メッセージ
-  新着インスタントメッセージ
-  同期トラブル
-  Wi-FiがオンでWi-Fiネットワークが利用可能
-  Wi-Fiテザリングが有効
-  USB接続中
-  USBテザリングが有効
-  Wi-FiテザリングとUSBテザリングが有効
-  通話中
-  不在着信
-  通話保留中
-  データのアップロード完了
-  データのダウンロード完了
-  Androidマーケットなどからのアプリケーションがインストール完了
-  Androidマーケットのアプリケーションがアップデート可能
-  隠れた通知の件数
-  microSDカード未挿入
-  イヤホン接続中 (端末のマイクからの入力)
-  イヤホン接続中 (イヤホンマイクからの入力)
-  ファクス受信
-  おまかせロック設定中
-  ソフトウェア更新有

☑: ソフトウェア更新完了

☑: VPN接続

■ 主なステータスアイコン

📶*: 電波状態

📶*: ローミング中

📶: 圏外

📶*/📶* (矢印がグレー): GPRS通信中/使用可能

📶*/📶* (矢印がグレー): 3G (パケット) 通信中/使用可能

📶: 機内モード

📶*: Wi-Fi接続中

📶: Bluetooth機能オン

📶: Bluetooth機器接続中

📶: データ同期中

📶: おサイフケータイ ロック設定中

📶: ドコモminiUIIMカード未挿入

📶: スピーカーフォンオン

📶: マイクミュート

📶: 着信音量0

📶: バイブレーションオン

📶: 公共モード (ドライブモード)

📶: マナーモード

📶: マナー (サイレント)

📶: マナー (アラーム)

📶: オリジナルマナー

📶: 要充電

📶: 電池残量が少ない

📶: 電池残量十分

📶: 充電中

📶: GPS測位中

📶: ATOKのかな入力モード

📶: ATOKの英数字入力モード

📶: ATOKの数字入力モード

📶: ATOKの手書き入力モード

📶: ATOKの絵文字/顔文字/記号、定型文、文字コード入力

* Googleアカウントでログインしているときに、緑色で表示されます。

文字入力

ディスプレイに表示されるソフトウェアキーボードを使って、文字を入力します。

- ここでは、主にNXInputでの入力方法について説明します。

◆ キーボードの使いかた

テンキーキーボード、QWERTYキーボード、手書きキーボードを使って文字を入力できます。

- 各キーボードから、音声文字入力を起動することもできます。
- キーボードの設定の手書き入力の設定で上書き手書き入力が有効に設定されているときは、テンキーキーボード (ケータイ入力時) やQWERTYキーボードが表示されている状態で手書き入力ができます。お買い上げ時はQWERTYキーボードの上書き手書き入力が有効に設定されています。

■ テンキーキーボード

携帯電話で一般的なキーボードです。入力方式の設定により、ケータイ入力、ジェスチャー入力、フリック入力の3種類の入力方式を使用できます。→P29



■ QWERTYキーボード

ローマ字入力で入力します。



■ 手書きキーボード

手書きで文字を入力できます。



- ① 定型文 / (C) ... 絵文字 / 定型文 / 顔文字 / 記号の入力

: 上書き手書き入力の有効 / 無効

- 上書き手書き入力があるときは、指のイラストが水色で表示されます。
- キーボードの切り替え操作にも利用します。→ P29

- A1** : 入力モードの切り替え (英字・数字・かな)
 • 現在の入力モードが水色で表示されます。
 • 1秒以上タッチすると、NXInputメニューでATOKの設定や単語登録ができます。

: 音声入力の起動

※ 文字を入力すると変換候補が表示され、選択できます。変換候補の表示領域を左右にスライドすると隠れている候補を表示できます。また、上にスライドして隠れている候補を表示したり、下にスライドして元の表示に戻すことができます。キーボードによっては、変換候補の下に、確定前の文字列が表示されます。

お知らせ オジャセ 1 1 1 1 1 変換候補
 お知らせ わたし 1 1 1

- ② : 直前に確定した文字を変換前の文字に戻す
 : テンキーキーボードでの入力、キーに割り当てられた文字を逆順に表示
 : カーソルを左に移動
 : 英字入力時の大文字と小文字の切り替え
 • タップするたびに、大文字→大文字固定→小文字に切り替わります。
 : 絵文字、顔文字、記号、定型文、文字コードの入力、電話帳やパスワードマネージャーの引用入力のメニューに切り替え
 • キーボードの非表示の操作にも利用します。→ P29

: 音声文字入力の起動

- キーボードの切り替え操作にも利用します。→ P29

入力 : カタカナ / 数字 / 英数 / 年月日 (全角 / 半角) などに交換

変換 : かな / 全角カタカナ / 半角カタカナ、英字の後変換候補から選択

記号 : 英数字入力と記号入力モードの切り替え

• QWERTYキーボードの設定で数字キーを表示に設定した場合には表示されます。数字キーを非表示に設定した場合は、各キーを下にフリックしてキーに割り当てられている数字や記号を入力できます。

- ③ : カーソルの左側の文字を削除

: カーソルを右に移動

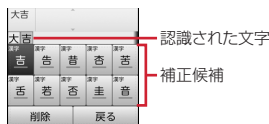
変換 : 文字の変換 / 空白の入力

Next : 次の入力項目にカーソル移動 / 確定または改行

- この他にも、Go、Done など、機能が変化する場合があります。

- ④ 手書き入力領域 : 指で文字を書いて入力

- 文字を入力すると、入力領域の上部に認識された文字が表示されます。
- 認識された文字をタップして、補正候補の文字の一覧から入れ替える文字を選択できます。



◆ キーボードの表示／非表示

■ キーボードの表示

1 文字入力欄を選択

- 文字入力欄にカーソルがある状態で  を1秒以上押し続けても表示できます。

■ キーボードの非表示

1 キーボード表示中に (1秒以上)

-  をタップして、ガイドが表示されたらそのまゝ任意の方向にスライドし、 が  に切り替わってから、再度  にスライドして指を離しても非表示にできます。

◆ キーボードの切り替え

■ テンキーキーボードとQWERTYキーボード

1 テンキーキーボードまたはQWERTYキーボード表示中に (1秒以上)

■ 手書きキーボードと他のキーボード

1 テンキーキーボードまたはQWERTYキーボード表示中に (1秒以上) → そのまゝ にスライド

テンキーキーボードまたはQWERTYキーボードに切り替え：手書きキーボード表示中に 

◆ テンキーキーボードの入力方式

テンキーキーボードでは、次の3つの入力方式を利用できます。

- キーボードの設定の「テンキーの設定」で入力方式を選択して利用します。

■ ケータイ入力

入力したい文字が割り当てられているキーを、目的の文字が表示されるまで続けてタップします。

■ ジェスチャー入力

入力したい文字が割り当てられているキーをタッチしたままにすると、キーの周りに文字（ジェスチャーガイド）が表示されますので、指を離さず目的の文字までスライドします。

- 濁音／半濁音／拗音を入力するには、キーから指を離さず下に1回または2回スライドします。キーの周りに濁音／半濁音／拗音のジェスチャーガイドが表示されますので、指を離さず目的の文字までスライドします。



例：「ば」を入力する場合

- 英数字入力モードの場合は、キーをタッチした指を離さず下にスライドすると、大文字／小文字を切り替えることができます。

■ フリック入力

入力したい文字が割り当てられているキーをタッチしたままにすると、キーの上に文字（フリックガイド）が表示されます。指を離さず目的の文字の方向にフリックします。

- 濁音／半濁音／拗音を入力するには、フリックしたあと  を1回または2回タップします。

◆ テキスト編集

文字入力欄、Webサイトやドキュメント、受信メールなどのテキストコピー、文字入力欄でのテキストの切り取り、貼り付けの操作ができます。

- アプリケーションの種類によって、操作方法が異なる場合があります。

❖ テキストのコピー／切り取り

■ 文字入力欄でのコピー／切り取り

1 テキストを選択(1秒以上)

2 [語句を選択]／[すべて選択]

[語句を選択] のときはタップした位置の語句が、
[すべて選択] のときはすべての範囲がオレンジで
ハイライト表示されます。

- テキスト範囲の両端にあるつまみをスライドすると選択範囲を調節できます。
- 選択範囲を解除するには、選択範囲外をタップします。

3 ハイライト表示されたテキストを選択→「テキストを編集」で[コピー]／[切り取り]

- 「テキストを編集」で [貼り付け] をタップすると、選択範囲が貼り付けたテキストで上書きされます。

■ Webサイトやドキュメントなどでコピー

1 テキストを選択(1秒以上)

テキスト範囲がオレンジでハイライト表示されます。

- テキスト範囲の両端にあるつまみをスライドすると選択範囲を調節できます。

2 ハイライト表示されたテキストを選択

❖ テキストの貼り付け

1 貼り付け位置にカーソルを移動→テキストを選択(1秒以上)→[貼り付け]

ロック／セキュリティ

◆ 本端末で利用する暗証番号

本端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要な場合があります。本端末をロックするためのパスワードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けてください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、ドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳細は本書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コード（PUK）は、ドコモショップで契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外で契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

◆ ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモインフォメーションセンターでのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただき、ご契約時に任意の番号を設定いただけますが、お客様ご自身で番号を変更できません。

パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」※の「docomoid / パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。

※「My docomo」については、本書裏面の裏側をご覧ください。

◆ PINコード

ドコモminiUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。これらの暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

PINコードは、第三者による本端末の無断使用を防ぐため、ドコモminiUIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の番号（コード）です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作ができます。

- 別の端末で利用していたドコモminiUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

◆ PINロック解除コード（PUK）

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモminiUIMカードがロックされます。その場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。

◆ PINコードの設定

◆ SIMカードロックの設定

電源を入れたときにPINコードを入力するように設定します。

- ホーム画面で  → [本体設定] → [セキュリティ] → [SIMカードロック設定]
- [SIMカードをロック] → PINコードを入力 → [OK]

✓お知らせ

- 初めてPINコードを入力する場合は、「0000」を入力してください。

◆ PINロックの解除

- PINコードがロックされた状態で[緊急通報]
- [**05*[PINロック解除コード]*[新しいPINコード]*[新しいPINコード]＃]と入力
 - 例えば、PINロック解除コードが88888888でPINコードを7777に変更する場合、
[**05*88888888*7777*7777＃]と入力します。

◆ デバイス管理

本端末の管理者の権限の有効／無効を設定します。あらかじめ有効なデバイス管理者が設定されている場合にのみ設定できます。

- おまかせロックを利用する場合は、「おまかせロック」を有効する必要があります。

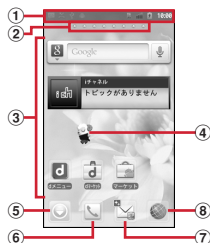
1 ホーム画面で  → [本体設定] → [セキュリティ] → [デバイス管理者を選択] → 管理者を選択 → [有効にする] / [無効にする]

ホーム画面

ホーム画面はアプリケーションを使用するためのスタート画面です。 を押していつでも呼び出すことができます。

- 最大12個のホーム画面を左右にフリックして切り替えて使用できます。

◆ ホーム画面の見かた



- ① ステータスバー→P26
本端末の各種状態などをアイコンでお知らせします。
- ② ホーム画面の数と位置

- ③ カスタマイズエリア→P32
ホーム画面のカスタマイズが可能な領域です。ショートカット、ウィジェット、フォルダなどを配置できます。
- ④ マチキャラ
- ⑤ アプリケーションメニュー
タップするとアプリケーションメニューを表示します。
- ⑥ 電話機能
タップすると発着信リスト、お気に入り、ダイヤル、電話帳を利用できます。不在着信があるときはアイコン上に件数が表示されます。
- ⑦ spモードメール
タップするとspモードメールを利用できます。新着spモードメールがあるときはアイコン上に件数が表示されます。
- ⑧ ブラウザ
タップするとブラウザを利用できます。

◆ ホーム画面のカスタマイズ

ホーム画面にアプリケーションのショートカットやウィジェットなどを自由に配置できます。また、きせかえり壁紙の変更もできます。

1 左右にフリックしてカスタマイズするホーム画面を表示→ → [追加]

2 [ショートカット] / [ウィジェット] / [フォルダ] / [きせかえ] / [壁紙] / [グループ] → 項目を選択

- [壁紙] → [ギャラリー] をタップして画像を選択した場合は、トリミング枠の内部をドラッグして位置を指定し、トリミング枠の角をドラッグして拡大／縮小したあと「保存」をタップして設定完了です。
- [壁紙] → [ライブ壁紙] → [Photo Collage] をタップした場合は、続けて [設定] → [イメージフォルダ選択] → [フォルダを選択] → 指定するフォルダにチェックを付けて、microSDカード内のイメージフォルダを指定します。表示モードも設定できます。